【令和7年度 江迎中学校グランドデザイン】

江迎地区コミュニティ・スクール

目的 江迎地区内の児童生徒を、学校・家庭・地域が連携・協働する教育活動をととして、「感動と笑顔にあえる町 江迎町」を支える人材、地域に貢献できる人材に育成する。（「ふるさと教育」の推進）
共育目標 夢をもち、豊かな心で、仲間と共に学び、地域とともに生きる児童生徒の育成

生徒の実態

保護者の願い

地域の思い

小学校の支え

職員の情熱

校訓
「質実剛健」

学校教育目標
「正しい判断をし、主体的に学び合い、心を磨き、自律した行動のできる生徒の育成」

目指す生徒像

- 1 日常生活のマナーと正しい判断力を身に付けようとする生徒
- 2 互いに学び合いながら、未来を見据え、探求心をもち、学力を身に付けようとする生徒
- 3 周りの人の気配りを行い、良好な人間関係の築きながら、自立した行動をしようとする生徒

目指す学校像

- 1 生徒一人一人がマナーを身に付け、自信をもち活力のあふれる学校
- 2 学校の歴史と校歌に誇りをもち、家庭・地域と連携を深める学校
- 3 生徒一人一人が自律し、礼節が保ち、笑顔で元気な挨拶を交わす学校

育てる生徒の資質能力

正しい判断をし、主体的かつ自律した行動ができる力

「江迎中学校一徳運動」

笑顔で迎える「先語後礼」 — 地域に愛される生徒 —

「江迎中学校教育スローガン」

江迎中を響き合う管弦楽団（オーケストラ）に！

生徒がワクワクする未来へ踏み出す学力形成へ

- 1 まずは、各教科の基礎・基本（土台づくり）
「覚える」から「考え、判断し、表現する」へ
- 2 授業最後の1分間「褒める」活動
- 3 「新しい時代に対応できる学力」の育成
生徒によるICTの活用
- 4 1時間の「学び合う」場の設定
- 5 生徒の「学習マネジメント」生活ノートの活用（家庭学習の習慣化）
「やってみたい『家』学習（イエガク）」

「いのち」の基盤となる「安全・安心」を迫及する

- 1 「いのち」を守る教育と道徳教育の推進
- 2 徹底した「危機管理」・「環境整備・美化」
安全対策・点検・服務規律・避難訓練・清掃
- 3 「健康」指導（学校保健委員会との連携）
フッ化物・メディアコントロールチェック
- 4 コミュニティー・スクール事業推進
学校が地域へ・地域が学校へ
「いつもそばにある」地域活動
- 5 体験学習に学び、体験学習を生かす活動
- 6 特別支援教育の推進… 一人一人のために

四つの歯車（学力・いのち・生徒活動・職員室）がかみ合ってはじめてはゆっくりと、しかし力強く動き始める

未来に生きる「マナー モード モデル」校の推進

- 1 自ら考え、判断できる「マナー」を身につけさせる。
- 2 伝統を受け継ぎ、引き継ぐ心を育てる。
- 3 自ら考え、判断し行動できる生徒を育む。
- 4 地域を知る・キャリアを学ぶ（「江迎学」の位置づけと進路指導）
- 5 家庭と連携した基本的・規則的生活習慣の確立
- 6 「いじめ」は絶対許さない環境づくり

心地よい職員室の土壌を作る

- 1 「自ら動く」職員室→敏速な「報告」「連絡」「相談」
- 2 「学び合う」職員室→校内研修の活性化
- 3 働きがいのある職員室
校務内容の整理 校務のICTの活用推進
会議の削減 → 生徒のための時間を確保
- 4 生徒を育む職員室
「褒め合う」職員室
- 5 不祥事「ゼロ」の職員室